

令和7年度
京都大学特色入試
学生募集要項
(9月4日修正版)



※教育学部（19ページ）、経済学部（25～26ページ）に、大学入学共通テスト利用教科・科目の補足がありますので、該当ページでご確認ください。

令和6年7月

京都大学特色入試は、能力、学ぶ意欲、志を多面的・総合的に評価する本学独自の選抜方式です。本学を志願する皆さんの、これまでの学びの活動等における努力のプロセスや、京都大学で学ぼうとする意欲を積極的に評価します。

TOEFL iBT について

令和7年度特色入試から、法学部、経済学部、医学部医学科、薬学部（薬科学科・薬学科）、農学部（資源生物科学科・食品生物科学科）の提出書類のうち、TOEFL iBT スコアレポートについては、「TOEFL iBT Home Edition（TOEFL iBT Special Home Edition 含む）」スコアレポートを用いることができません。

スコアレポートの提出方法につきましては、本学生募集要項に記載されている各学部の指示に従ってください。

令和7年度特色入試の実施に関して、今後追加で変更等がある場合は、本学 Web サイトに掲載します。あなたが志願する学部・学科に関する最新情報について、必ずご確認ください。

京都大学 Web サイト <https://www.kyoto-u.ac.jp/>



目 次

「高大接続型」特色入試を受験される皆さんへ	1
1. 京都大学の基本理念	2
2. 京都大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	3
3. 京都大学特色入試の基本方針	4
4. 募集人員・試験実施方式	5
5. 選抜日程	6
6. 令和7年度特色入試における大学入学共通テスト「経過措置科目」の取り扱いについて	7
7. 求める人物像、募集人員、選抜日程、出願資格、出願要件、提出書類、大学入学共通テスト利用教科・科目名、選抜方法及び基準、第2次選考実施期日・場所	12
・総合人間学部	13
・文学部	16
・教育学部	18
・法学部	21
・経済学部	24
・理学部	27
・医学部医学科	30
・医学部人間健康科学科	33
・薬学部薬科学科	36
・薬学部薬学科	39
・工学部地球工学科	42
・工学部建築学科	44
・工学部物理工学科	46
・工学部電気電子工学科	48
・工学部情報学科	50
・工学部理工化学科	52
・農学部資源生物科学科	54
・農学部応用生命科学科	57
・農学部地域環境工学科	59
・農学部食料・環境経済学科	61
・農学部森林科学科	63
・農学部食品生物科学科	65
8. 出願手続	67
9. 入試情報開示	74
10. 障害等のある受験者に対する合理的配慮について	75
11. 受験に関する注意事項等	76
12. 合格者発表	79
13. 入学手続	81
14. 修学案内	83
15. 個人情報取り扱いについて	87
16. 過去3年間の特色入試試験結果の概要	88

問い合わせ先 91

※一般選抜については、12月に公表予定の一般選抜学生募集要項をご確認ください。

「高大接続型」特色入試を受験される皆さんへ



京都大学は、令和4年に創立125周年を迎えた長い歴史と伝統を誇る総合大学です。京都大学の基本理念は自由の学風と創造の精神であり、自然科学分野ではアジア最多のノーベル賞やフィールズ賞受賞者を輩出し、人文社会科学分野では京都学派といわれる独自の思想・文化の潮流を作り出すなど、広い学術研究領域で輝かしい成果をあげてきました。私たちが尊重するのは独創性と多様性であり、若い皆さんの持つ大きな潜在的可能性を引き出し育てていくことが責務であると考えています。

大きな可能性を秘めた受験生が少しでも多く京都大学に集まっていたらよいように、京都大学では一般選抜に加え特色入試制度を開始し、全ての学部・学科で実施しています。これは、京都大学の基本精神を体現し、将来様々な分野でリーダーシップをとって社会に貢献できる優れた人材を発掘し育成することを目的として、高校での学修における特徴的な活動や成果を重視し、各学部・学科が独自に定める資質や意欲・志などを総合的に評価する本学独自の選抜方式です。

京都大学は、特色入試と一般選抜で入学された多様な可能性を秘めた学生達と同じキャンパスで学業や課外活動に励み、対話と切磋琢磨のなかで成長していただくことを強く期待しています。様々なタイプの学生達が、お互いに親しく交流し友情を育てていくことによって、きっと新しい考えの芽生えや自己発見があることでしょう。

受験生の皆さんには、この特色入試という本学への新しい扉の趣旨を理解し利用してこの伝統ある京都大学に集い、新しい自分の可能性を発見していく旅にチャレンジしていただくことを期待しています。

京都大学総長 湊 長 博

1. 京都大学の基本理念

京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多角的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める。

■研究

1. 京都大学は、研究の自由と自主を基礎に、高い倫理性を備えた研究活動により、世界的に卓越した知の創造を行う。
2. 京都大学は、総合大学として、基礎研究と応用研究、文科系と理科系の研究の多様な発展と統合をはかる。

■教育

3. 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。
4. 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

■社会との関係

5. 京都大学は、開かれた大学として、日本および地域の社会との連携を強めるとともに、自由と調和に基づく知を社会に伝える。
6. 京都大学は、世界に開かれた大学として、国際交流を深め、地球社会の調和ある共存に貢献する。

■運営

7. 京都大学は、学問の自由な発展に資するため、教育研究組織の自治を尊重するとともに、全学的な調和をめざす。
8. 京都大学は、環境に配慮し、人権を尊重した運営を行うとともに、社会的な説明責任に答える。

2. 京都大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

京都大学は、日本の文化、学術が育まれてきた京都の地に創設された国立の総合大学として、社会の各方面で活躍する人材を数多く養成してきました。創立から1世紀以上を経た21世紀の今日も、建学以来の「自由の学風」と学術の伝統を大切にしながら、教育、研究活動をおこなっています。

京都大学は、教育に関する基本理念として「対話を根幹とした自学自習」を掲げています。京都大学の目指す教育は、学生が教員から高度の知識や技術を習得しつつ、同時に周囲の多くの人々とともに研鑽を積みながら、主体的に学問を深めることができるように教え育てることです。なぜなら、自らの努力で得た知見こそが、次の学術展開につながる大きな力となるからです。このため、京都大学は、学生諸君に、大学に集う多様な人々との交流を通じて、自ら学び、自ら幅広く課題を探求し、解決への道を切り拓く能力を養うことを期待するとともに、その努力を強く支援します。このような方針のもと、優れた学知を継承し創造的な精神を養い育てる教育を実践するため、自ら積極的に取り組む主体性をもった人を求めています。

京都大学は、その高度で独創的な研究により世界によく知られています。そうした研究は共通して、多様な世界観・自然観・人間観に基づき、自由な発想から生まれたものであると同時に、学問の基礎を大切に研究、ないし基礎そのものを極める研究であります。優れた研究は必ず確固たる基礎的学識の上に成り立っています。

京都大学が入学を希望する者に求めるものは、以下に掲げる基礎的な学力です。

1. 高等学校の教育課程の教科・科目の修得により培われる分析力と俯瞰力
2. 高等学校の教育課程の教科・科目で修得した内容を活用する力
3. 外国語運用能力を含むコミュニケーションに関する力

このような基礎的な学力があってはじめて、入学者は、京都大学が理念として掲げる「自学自習」の教育を通じ、自らの自由な発想を生かしたより高度な学びへ進むことが可能となります。

京都大学は、本学の学風と理念を理解して、意欲と主体性をもって勉学に励むことのできる多様な人々を国内外から広く受け入れます。

受入れにおいては、各学部の理念と教育目的に応じて、その必要とするところにしたがい、入学者を選抜します。一般選抜では、教科・科目等を定めて、大学入学共通テストと個別学力検査の結果を用いて基礎学力を評価します。特色入試では、書類審査と各学部が定める方法により、高等学校での学修における行動や成果、個々の学部・学科の教育を受けるにふさわしい能力と志を評価します。